

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

		事業番号	0240/350515/12/00	事業の種類	5	
年度	19	事務事業名	ドラゴンボート選手権大会事業	作成日	平成21年1月20日	
予算事業名	ドラゴンボート選手権大会事業		担当部課名	産業振興課		
政策名	にぎわいと活気のあるまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	商業・サービス業・観光					
根拠法規及び関連法規	市補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客				
	誰(何)を対象として	市民・観光客				
	意図(どのような状態にしたいのか)	ドラゴンボートを通した市内外の参加者同士の交流の場として賑わう				

2 事業の概要 Do

実施の概要	世界大会及びアジア大会の日本代表を決定する選考レースとして、相生市で7月第1日曜日に実施。					
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	参加チーム数	チーム	39	38	40	30

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.500	0.500	100.0	0.500		0.500	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	5,396,608	5,012,634	92.9	5,090,085	101.5	5,003,572	98.3	
	事業費	7,000,000	5,500,000	78.6	4,581,312	83.3	4,000,000	87.3	
	合計	12,396,608	10,512,634	84.8	9,671,397	92.0	9,003,572	93.1	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,396,608	10,512,634	84.8	9,671,397	92.0	9,003,572	93.1	
	合計	12,396,608	10,512,634	84.8	9,671,397	92.0	9,003,572	93.1	

4 評価指標

【有効性】

指標名1	ドラゴンボート選手権大会参加チーム数								
指標説明(式)	ドラゴンボート選手権大会参加チーム数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
チーム	目標	39	38	97.4	40	105.3	30	75.0	
	実績	39	38	97.4	40	105.3			
指標名2	参加者数(観客数含む)								
指標説明(式)	参加者数(観客数含む)								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2,500	2,500	100.0	2,500	100.0	2,500	100.0	
	実績	5,000	2,700	54.0	3,000	111.1			

【効率性】

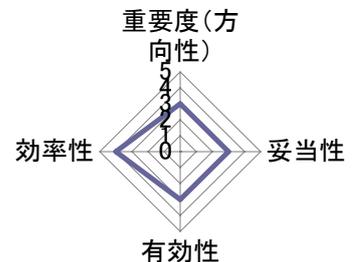
指標名1		ドラゴンボート選手権大会1チームあたりの開催費用							
指標説明(式)		開催費用/ドラゴンボート選手権大会チーム数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	179,487	144,737	80.6	114,533	79.1	133,333	116.4	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	市内外から多数の参加があり、海洋スポーツとしての開催は、概ね妥当と考えるが、コストの削減を引き続き図るなどにより、現在以上に市民の理解を得る必要がある。また、観光的な観点からは、参加者数(観客数)も減少しており、妥当性が減少しており、海洋スポーツの振興として取り組む必要がある。	3	3
有効性	成果目標(改善)達成度	市内外から多数の参加があり、海洋スポーツとしての開催は、概ね妥当である。また、観光的な観点からは、参加者数(観客数)も減少しており、妥当性が減少しており、海洋スポーツの振興として取り組む必要がある。	3	3
効率性	コストの節減	イベント的な要素を廃止し、スポーツ大会として実施することにより、開催費用の削減を行う。	4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	選手権大会として開催することで、予算の削減を行ったが、今後更なる経費の削減と市民の理解、また、海洋スポーツ振興の観点からの実施を検討する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民の理解を得るため、経費の大幅な削減に努める。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

事業の継続を図りながら、経費の削減に努め、市民の理解を得る。

検討の有無	—
総合指標	17.5